

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要
事業開始年度: 平成19年度~
大項目: 基本目標 02 健康でやさしさあふれるまちづくり
中項目: 基本施策 02 健やかで生き生きしたまちづくり
小項目: 施策 07 病院事業
事務事業名: 06 訪問看護事業
根拠法令・例規等: 介護保険法
問担当課(室): 備前さつき苑事務部
職・氏名: 事務次長 難波 巧
電 話: 0869-63-9300
このシート作成に要した時間: 3.0 時間

事業の目的
対象 (誰・何に対して): 疾病・負傷により、居家で継続して療養を受ける状態にある者で、主治医が訪問看護を必要と認めた者。また、介護保険の要支援・要介護認定を受けた者で、介護支援専門員が必要と認めた者。
目的 (何のために): 在宅療養者の家庭における療養生活を支援する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか): 在宅療養者の心身の機能の維持回復を図る。

事業の実績
細事業名: 訪問看護事業
事業の説明: 病状観察・看護技術・栄養・食事療法・レビリ実施相談指導、生活環境調整指導、連絡調整
優先度: ◎
目的を達成するため実施した事業

事業費等
単位: 千円
平成19年度実績 | 平成20年度実績 | 平成21年度実績
直接事業費: 2,537 | 3,577 | 3,418
必要人員人件費: 3.00人 | 13,322 | 4.01人 | 14,065 | 2.98人 | 17,030
事業費計: 15,859 | 17,642 | 20,448
国県支出金: 15,844 | 17,590 | 20,344
受益者負担金: 15 | 52 | 104
繰入金債:
その他():
一般財源: 0 | 0 | 0
受益者負担比率: 0.00 | 0.00 | 0.01
結果指標名: 訪問看護サービス件数
説明: 備前さつき苑からの訪問看護サービスを受けた年間延べ件数
結果指標量: 2,260 | 2,361 | 2,676
対前年比: 104.5% | 113.3%
活動コスト: 15,859,000 | 17,642,000 | 20,448,000
単位当たりコスト: 7,017 | 7,472 | 7,641

事業の成果
成果指標名: 職員一人1日あたりの看護件数
年度: 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度目標値
目標値(A): 3.3 | 3.3 | 3.3 | 3.7
実績値(B): 3.07 | 3.21 | 3.64 | 到達目標値
達成率(B/A): 93.03% | 97.27% | 110.30% | 3.7
成果指標設定の考え方・式や説明
意図とする成果の指標として、看護師一人当たりの訪問件数をみる。
年間訪問件数/3人(看護師数)/245日(年間245日で換算)

事務事業の評価
市の関与の妥当性の評価: 妥当性 必要 市民ニーズ
効率性の評価: コスト 手段
有効性の評価: 目的達成度 市民参画度
B
C
B

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

進行年度(H22年度)の改革改善内容
状況: 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了
説明: 単位当たりコストの削減に努める。

総合評価
事業の目的・対象・手段は、法律あるいは主治医の指示で定められており、評価対象としては実訪問看護時間が妥当と思われる。より効率的なサービスの提供を目指し、ステーション内で検討することにより、一層の成果をあげることが可能と思われる。また、単位当たりのコストが増加傾向にあり、経費の削減に努めなければならない。
評価区分: <A~E>
B
妥当性
有効性
効率性

平成23年度の方向性及び取組目標
方向性: 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了
取組目標: 単位当たりコストの削減に努める。